

令和3年度 学校経営計画

1 校訓・教育目標

【校 訓】 敬愛・協調・正義

【教育目標】 人間尊重の心を持ち、向上心旺盛な生徒を育てる

2 教育方針

生徒との心のふれあいを大切にし、一人ひとりの生徒のよいところを認め、温かい人間関係と信頼関係を築く

3 めざす生徒像・教師像・学校像

【めざす生徒像】 『兼六魂』

- ・進んで学び、深く考える生徒 (かしこい兼六中生)
- ・明るく、思いやりのある生徒 (やさしい兼六中生)
- ・心身を鍛え、困難に耐える生徒 (たくましい兼六中生)

【めざす教師像】

- ・生徒の成長と将来の幸せを願い、教育的な使命感と情熱をもつ教師
- ・教育の専門家としての自覚と誇りを持ち、学び合い、学び続ける教師
- ・豊かな教養と社会性を身につけ、保護者・地域から信頼される教師

【めざす学校像】

- ・生徒が自らの成長を実感できる場としての学校
- ・保護者が安心して我が子の教育を託せる学校
- ・地域にとって信頼のおけるパートナーとなる学校
- ・生徒、保護者、地域、職員が愛着と誇りを持てる学校

4 経営方針（経営の基調）

- (1) 基礎・基本を身につけ、意欲を持って学習する生徒の育成に努める。
- (2) 規範意識の醸成を重んじ、落ち着いた生徒集団を育てるとともに、いじめや問題行動等の未然防止、早期発見、組織的な早期対応に努める。
- (3) 個を尊重し、自主的・自発的な精神を養い、心豊かでたくましい生徒の育成に努める。
- (4) 自己有用感を育み、適切な人間関係を築こうとする態度を育てる。
- (5) 教職員としての資質向上を図るため、研修の充実に努める。
- (6) 小学校、家庭、地域と連携を深めることにより、生徒の健全育成に努める。

5 中期的な取組の重点

- (1) 生徒一人ひとりの良さを認め、その可能性を伸ばすように努める。
 - ① 自己有用感を高めるとともに、他を尊重し、他を思いやる温かい心を育てる。
 - ② 学校行事や部活動など様々な教育活動を通して、生徒と教師、生徒相互の人間関係づくりを推進する。
 - ③ いじめや不登校の未然防止のため、教育相談体制の充実に努める。
 - ④ 規範意識の醸成と基本的な生活習慣の定着の徹底を図る。
 - ⑤ 生徒の自己実現に向けて、3年間を見通した進路指導・生き方指導に努める。
- (2) 基礎・基本を定着させ、自ら学ぶ意欲や確かな学力の伸長に努める。
 - ① 授業における学習規律および学年に応じた家庭での学習習慣の定着に努める工夫をする。
 - ② 学習意欲を引き出す課題の設定、ICT機器の積極的活用、主体的・対話的で深い学びを取り入れた学習形態の工夫により、学ぶ喜びが実感できる授業づくりに努める。
 - ③ 特別支援教育の知見を生かした指導について学び、実践に取り入れる。
- (3) 心豊かな学校生活をおくるため、潤いのある環境づくりに努める生徒を育成する。
 - ① 気持ちのいい挨拶ができるようにする。
 - ② 仲間の個性や良さを認め合い、仲間とともに学び高めあえる学級・学年集団を育てる。
 - ③ 仲間とともに協力して、問題解決に取り組もうとする実践的な態度を育てる。
 - ④ 様々な機会を通して、ひたむきに努力することの大切さを教え、心身ともに健康な生徒を育てる。
 - ⑤ 整然とした、落ち着きのある環境、安全な学校づくりを推進する。
 - ⑥ SDGs（持続可能な開発目標）教育を推進する。
 - ⑦ レジリエンス教育を推進する。

6 本年度の重点目標

- (1) 落ち着いた環境・集団作り（挨拶、コミュニケーション、人権意識、規範意識）
- (2) 心の健康（レジリエンスの育成）
- (3) 全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学び（指導の個別化と学習の個性化）と、協働的な学びの実現
- (4) G I G Aスクール構想の実現に向けた I C T機器の積極的な活用
- (5) 新学習指導要領の完全実施に伴うカリキュラムマネジメントと評価
- (6) 教職員の協働体制（学び合い、助け合い）と働き方改革
- (7) 感染症対策の徹底と教育活動の継続

7 具体的な方策の工程表

	月	主な取組	内容
1学期	4	学校運営方針、組織編成 生徒指導方針、研究体制等共通理解 学級組織、学年指導体制の確立 春の遠足	組織的・機動的な体制への確認 学校の方針→各学年の方針 生徒同士、生徒と教師の人間関係
	5	QIアンケート 部活動 春季大会 小中連携会議 当初面談	学級の分析と対応策の検討 部活動を通じた生徒指導・道徳性の涵養 本年度の連携内容の検討等 目標設定と意識づけ、意欲の向上
	6	小中一貫教育の日 学校公開週間 懇談週間 避難訓練（火災対応） 部活動 加賀地区大会 2年キャリア教育	全体研修会 保護者との連携強化 生徒理解 職員への対応体制の確認と生徒の意識づけ 自主性、団結力の育成 キャリア教育
	7	前期学校評価アンケート 保護者懇談 小中連携会議	教員、生徒（授業・生活）、保護者 家庭との連携の強化、個に応じた指導・支援 活動の経過確認と今後の取組の検討
	8	補充教室 学校評価アンケートの分析	学力補充 各学年、各分掌等での分析、改善策の検討
2学期	9	学校運営協議会 運動会 生徒挨拶運動 新入生大会 新生会	前期学校評価へのi委員評価と改善 生徒会・リーダー会等による運営 小学校玄関での朝の挨拶運動の確立 部活動 2年生中心の新体制の確立 生徒同士、生徒と教師の人間関係
	10	3年修学旅行 中間面談 避難訓練（不審者対応）	生徒同士、生徒と教師の人間関係 取組の中間総括と改善 安全安心な学校と生徒の意識づけ
	11	授業参観・スクールフォーラム 文化発表会、合唱コンクール 小中授業交流	家庭・地域との連携 人間関係の形成 小学校の公開研究会、研究授業等への参加
	12	個人懇談 避難訓練（地震対応） 後期学校評価アンケート 三者懇談	家庭との連携強化、個に応じた指導・支援 安全安心な学校づくりと「命を守る」指導 教員、生徒（授業・生活）、保護者 家庭との連携強化、個に応じた指導・支援
3学期	1	細部の点検と次年度への対応 小中一貫推進会議	各分掌等での取組、記録の確認と整理 分科会、情報交換、年間のまとめ
	2	学校運営協議会	学校評価結果の検討と次年度に向けて
	3	最終面談 小中連携の会 学校評価提出と公表	目標に向けての取組の総括と自己評価 学級編成と児童生徒引き継ぎの情報交換 年間の振り返りと次年度の教育課程の作成

8 金沢型小中一貫教育に向けた具体的な取組

- ・小中一貫の意義を児童生徒の教育という視点で再確認し、有益で実質的な連携を深める。

9 教職員の業務適正化に向けた具体的な取組

（国、県、市の方針及び指針に基づき、年間を通して業務適正化を意識し、改善を行う。）

- (1) 時間外勤務時間の平均を前年度より減少させる。
- (2) 毎日の最終退校時間目標と月2回以上定時退校日を設定する。
- (3) 学校評価に時間外勤務縮減に関する項目を設定し、取組状況・成果の点検を行う。
- (4) 部活動の活動時間の制限、休養日の設定を遵守する。

10 若手教員早期育成プロジェクトにおける具体的な取組

- ・日常的なO J Tと定期的研修

11 コミュニティスクールとしての具体的な取組

- ・学校運営協議会の開催